

授業科目名	バリアフリースーツリズム総合研究Ⅰ・Ⅱ		担当教員名	吉島 一彦		
コース名	ヘルスツーリズムコース					
科目区分		単位	配当年次	実施時期	曜日・時限	形態
コース別専門科目	選択必修	Ⅰ：2単位 Ⅱ：2単位	4	Ⅰ：春学期 Ⅱ：秋学期	別途案内	講義
授業概要						
<p>・本講義は、「調査研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」や「実践研究Ⅰ・Ⅱ」での知識と経験を踏まえたうえで、実社会の「バリアフリースーツリズム」あるいは「観光のユニバーサル化」についての理解をさらに深め、この分野での学びの総仕上げをします。同時にその学びを活かして個人研究に取り組み、成果を論文などにして残します。</p>						
到達目標						
<ol style="list-style-type: none"> 1. 個人研究を通して文献及びフィールドでの「調査力」を身に付ける。 2. 個人研究を通して文章を考え、推敲する「文章力」「表現力」を養う。 3. 個人研究の成果を卒業研究として残すことによって「達成感」を得る。 						
授業方法(展開)						
<ol style="list-style-type: none"> 1. 個人研究のテーマについては自主性を重んじます。バリアフリー観光プランといった狭い枠に限定しなくても構いません。 2. 受講生のテーマにそった個人指導中心の授業展開を考えています。 3. 必要に応じて学外授業（フィールド調査）や外部講師を招いての授業も行います。 						
関連科目・知識・スキル						
<p>調査研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（バリアフリースーツリズム）、バリアフリースーツリズム実践研究Ⅰ・Ⅱ、バリアフリースーツリズム論、高齢者旅行論。バリアフリースーツリズム論、高齢者旅行論については履修が望ましいですが、義務ではありません。社会の動きを知るために新聞を読んでください。</p>						
成績評価						
<p>受講態度、研究への取り組み、卒業研究の内容などを総合的に判断し、評価します。</p>						
教科書・参考書など						
<p>特にありません。個々のテーマによってその都度、提示します。</p>						
履修上の注意事項						
<p>特にありません。</p>						

授業の柱(単元)と授業スケジュール

【総合研究Ⅰ（春学期）】

15回の講義のうち、初回は講義の説明、到達目標、授業の進め方、成績評価などを説明します。次回からは個人研究のテーマをヒアリングし、研究の進め方を話し合い、指導します。全員のテーマが決まった段階で研究計画を立ててもらい、授業の中で発表し、相互批判します。そのうえで計画を直し、実際に研究（文献調査、フィールド調査など）を進めてもらいます。

14、15回目には研究の中間報告発表会を行います。

途中で授業の一環として全員でフィールド調査に出たり、外部講師を招いたりしたいと考えています。

【総合研究Ⅱ（秋学期）】

15回の講義のうち、前半は研究の進み具合を見ながら個人指導します。後半はまとめにかかっています。まとめ方は論文のほか、パワーポイント発表原稿、ムービーなどでも構いません。最後は卒業研究発表会を行うとともに冊子にまとめたいと考えています。

※授業の一環として行うフィールド調査などにかかる費用については学生に負担をかけません。

※「実践研究Ⅰ・Ⅱ」との合同授業は今のところ考えていません。ただし、ゲスト講師に来てもらうときは一緒にするかもしれません。了解してください。

学生への一言

いよいよ最終学年です。「私は神戸夙川学院大学でこんな研究をした」と胸を張って言えるものを残しましょう。

授業科目名		バリアフリーツーリズム総合研究Ⅰ・Ⅱ		担当教員名	戸祭 達郎	
コース名		ヘルスツーリズムコース				
科目区分		単位	配当年次	実施時期	曜日・時限	形態
コース別専門科目	選択必修	Ⅰ：2単位 Ⅱ：2単位	4	Ⅰ：春学期 Ⅱ：秋学期	木・4	講義
授業概要						
<p>この講義では、「ヘルスツーリズム」、「ジオパーク・ツーリズム」、「限界集落の活性化」の3つであり、フィールド調査を通じた研究をおこないます。「ヘルスツーリズム」では、より健康を目指す人たち、癒しを求める人たち、高齢者で元気な老人たち、障害者の人たちに安心して旅行に出かけてもらえる仕組みつくるための経済産業省「人材育成・登録」プロジェクトに参加し、神戸学院大学、阪南大学と一緒に研究しましょう。次に、「ジオ（地質）パーク・ジオツーリズム」は、2010年秋に山陰海岸（鳥取・兵庫・京都）がユネスコからジオパークとして承認される予定です。山陰海岸・但馬へは、ツーリズムひょうご学官連携協議会（兵庫県庁内）所属の5大学（海星、山手、国際、流通、本学）と加えて神戸学院、阪南大学、立命館大学の計8大学の学生たちと一緒に合同調査を9月上旬におこなう予定です。</p> <p>「限界集落の活性化」は、実践研究の学生との合同調査による調査対象である限界集落の京都府綾部市上林、老富地区は2009年度の春、秋に引き続き調査し、住民と交流を図るものです。さらに、独自に兵庫県の協力により、兵庫県内の小規模集落に入り、地域活性化の調査を行う予定です。また、夏に宍粟市への森林セラピー調査に参加することも可能性としてあります。以上、山盛りの調査ですが、元気で楽しく学生主体でゼミを運営しましょう。</p>						
到達目標						
<ol style="list-style-type: none"> 1. 合同調査には全員が参加する 2. 調査した結果をまとめ、発表する <p>実践研究の3回生の後輩や他の大学の学生たちと交流する</p>						
授業方法(展開)						
<ol style="list-style-type: none"> 1. 文献から学ぶ 2. フィールド調査に参加する 3. 会議に参加し、報告書をまとめる 4. 発表する 						
関連科目・知識・スキル						
成績評価						
<p>受講態度、討論参加、フィールドの参加、報告書・レポートのまとめや論文の作成、発表など総合的に判断する。</p>						
教科書・参考書など						
<p>その都度指示する。</p>						
履修上の注意事項						

授業の柱(単元)と授業スケジュール

春学期

1. 講義計画、講義の到達目標、授業評価、参考文献
2. 「ヘルスツーリズム」の概念
3. 「ジオパーク・ジオツーリズム」とは
4. 山陰海岸ジオパーク推進協議会主催の説明会：(県庁内)に参加
5. 過去の調査レポート、先行文献の紹介
6. 「原価集落・小規模集落」の概念
7. 限界集落の過去の調査レポート、先行文献の紹介
8. 「地域活性化」の概念
9. 「ユニバーサルツーリズム」の概念
10. ゲスト講師：NPO法人ウイズアス代表鞍本氏
11. 経済産業省の会議に参加
12. ゲスト講師：綾部市上林 老富地区の住民代表又は塩見直紀氏
13. 学生交流—神戸学院大、阪南大学の学生たち
14. 発表
15. まとめ

夏休み

1. 9月上旬 2泊3日 山陰海岸ジオパーク・ジオツーリズム合同調査
2. 8月上旬? 1泊2日 森林セラピー調査予定

秋学期

1. 秋学期の講義計画、成績評価など
2. ジオパーク調査のまとめ、
3. "
4. 綾部市上林老富調査
5. "
6. 兵庫県内の限界集落・小規模集落への調査準備
7. 「ゲスト講師」：プロデューサー伊勢氏 限界集落、小規模集落
8. 調査
9. 調査とまとめ
10. ゲスト講師：ひょうごツーリズム協会からの講師
11. 報告書
12. 報告書
13. 発表
14. 発表
15. まとめ

学生への一言